

『第179回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2020年 1～3月期の実績		
	2020年 4～6月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	108社
(業種別内訳)	製造業 31社	卸売業	9社
	小売業 23社	サービス業	13社
	建設業 21社	不動産業	11社
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

☆ 目次 ☆

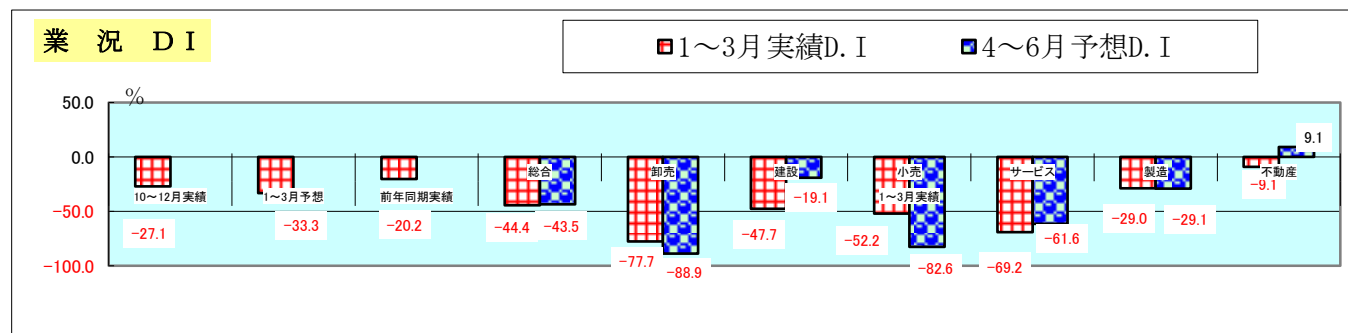
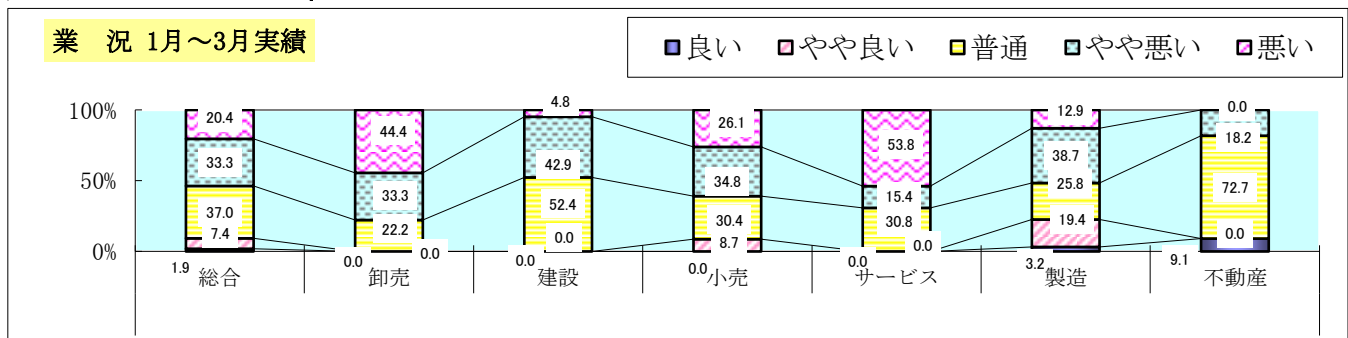
概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 … 「外国人・海外情勢と中小企業」①	P. 19
特別調査 … 「外国人・海外情勢と中小企業」②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	1～3月実績D. I	4～6月予想D. I
10～12月実績							-27.1	
1～3月予想							-33.3	
前年同期実績							-20.2	
1～3月実績	総合	1.9	7.4	37.0	33.3	20.4	-44.4	-43.5
	卸売	0.0	0.0	22.2	33.3	44.4	-77.7	-88.9
	建設	0.0	0.0	52.4	42.9	4.8	-47.7	-19.1
	小売	0.0	8.7	30.4	34.8	26.1	-52.2	-82.6
	サービス	0.0	0.0	30.8	15.4	53.8	-69.2	-61.6
	製造	3.2	19.4	25.8	38.7	12.9	-29.0	-29.1
	不動産	9.1	0.0	72.7	18.2	0.0	-9.1	9.1



○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’20年1月～3月期の業況判断D. I. は△44.4で、19年10～12月期（前期）と比べ17.3ポイント悪化、前年同期比でも24.2ポイント悪化を示しました。

今期売上判断D. I. △49.9は、前期実績D. I. △22.2から27.7ポイント下降し、前回調査における今期の予測D. I. △27.8からも22.1ポイントの悪化を示しました。

’20年4月～6月期（来期）の予想業況判断D. I. は△43.5と、今期実績比0.9ポイントの良化が予想されており、経営者のマインドは業況回復の兆しありと見ています。

○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫地域・中小企業研究所調べ）

’20年1～3月期（今期）の業況判断D. I. は△19.3、前期比11.5ポイント悪化した。今回の悪化幅は、リーマンショック時（12.6ポイント悪化）以来の大幅なものとなった。

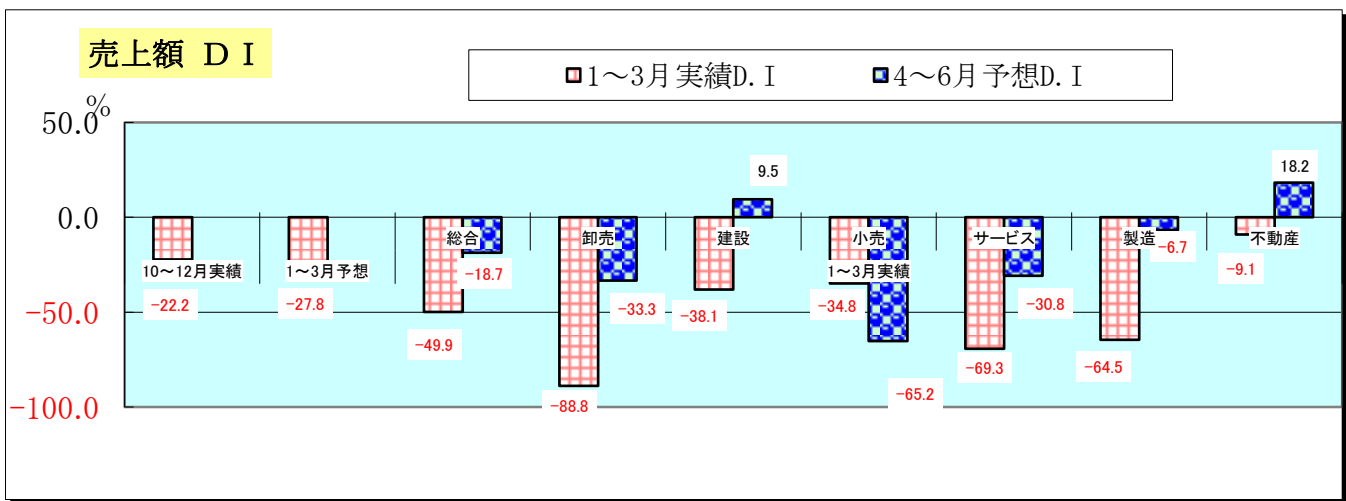
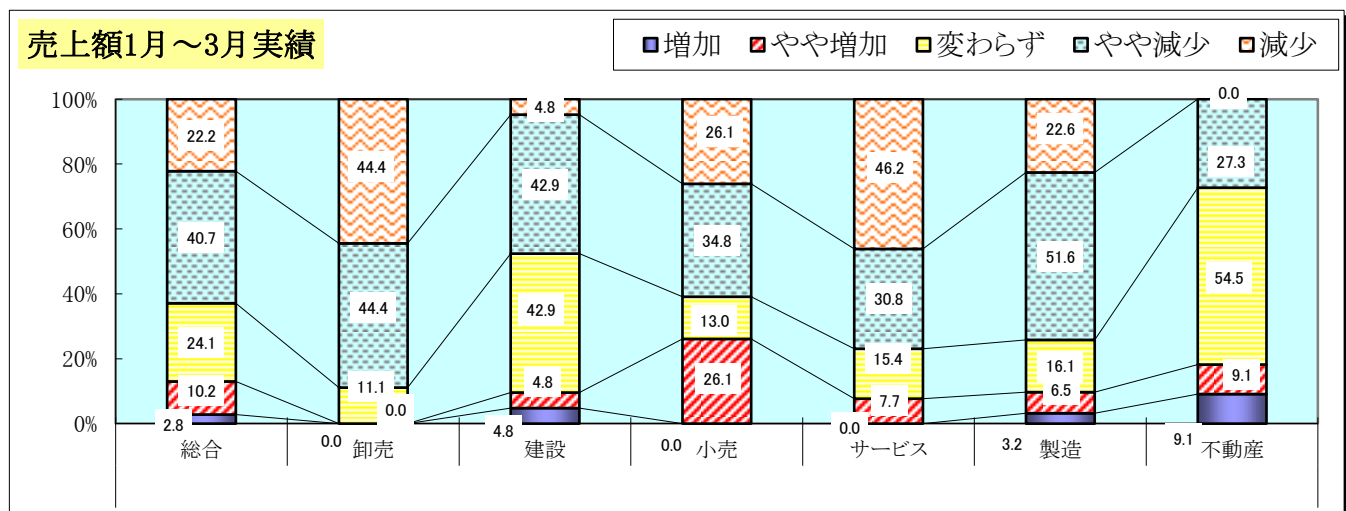
収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△20.3と前期比10.9ポイント悪化、同収益判断D. I. は△20.9と同9.0ポイント悪化した。販売価格判断D. I. は同6.8ポイント低下して△0.1となった。人手不足判断D. I. は△22.7と前期比4.7ポイント人手不足感が緩和した。設備投資実施企業割合は1.1ポイント低下して21.5%となった。業種別の業況判断D. I. は、全6業種で悪化した。地域別にも全11地域で悪化した。

’20年4～6月期（来期）の予想業況判断D. I. は△25.9、今期実績比6.6ポイントの悪化を見込んでいる。業種別には全6業種で、地域別には全11地域中、北海道を除く10地域で、それぞれ悪化する見通しにある。

2. 前期に比べた動き

(1) 売上額の動き

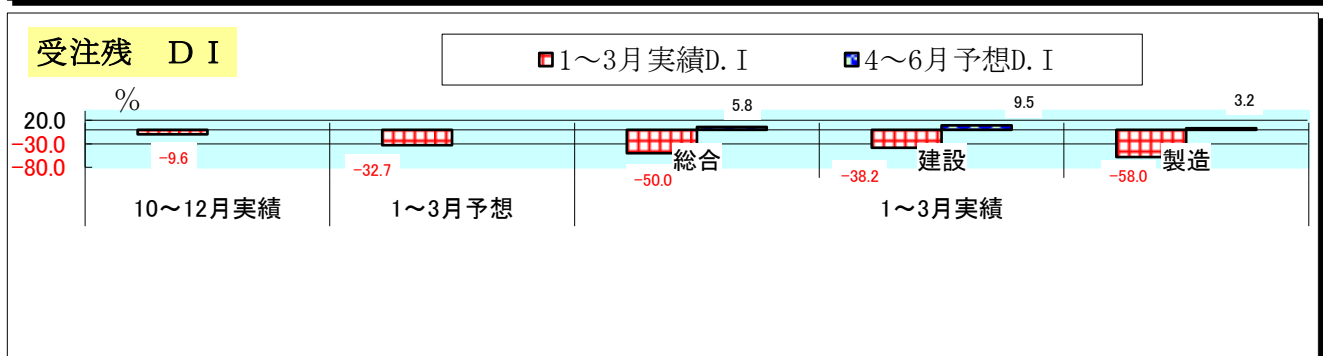
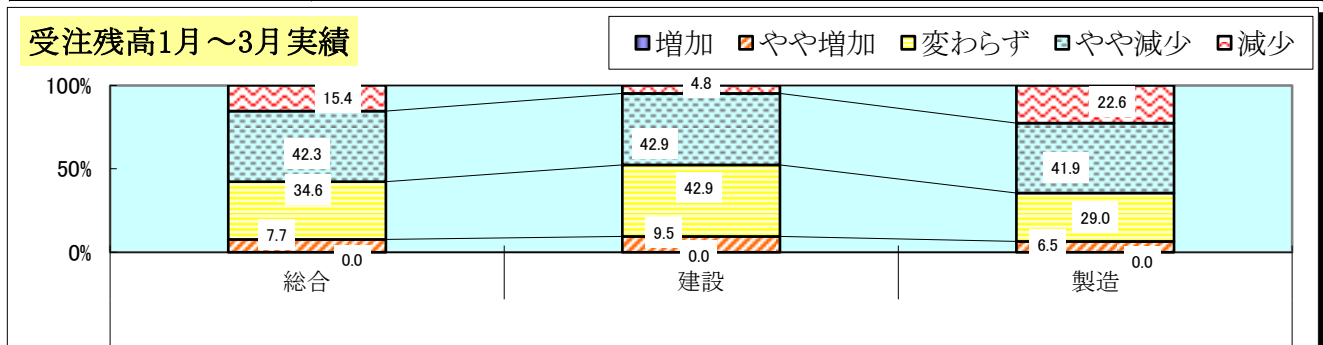
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							-22.2	
1~3月予想							-27.8	
1~3月実績	総合	2.8	10.2	24.1	40.7	22.2	-49.9	-18.7
	卸売	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4	-88.8	-33.3
	建設	4.8	4.8	42.9	42.9	4.8	-38.1	9.5
	小売	0.0	26.1	13.0	34.8	26.1	-34.8	-65.2
	サービス	0.0	7.7	15.4	30.8	46.2	-69.3	-30.8
	製造	3.2	6.5	16.1	51.6	22.6	-64.5	-6.7
	不動産	9.1	9.1	54.5	27.3	0.0	-9.1	18.2



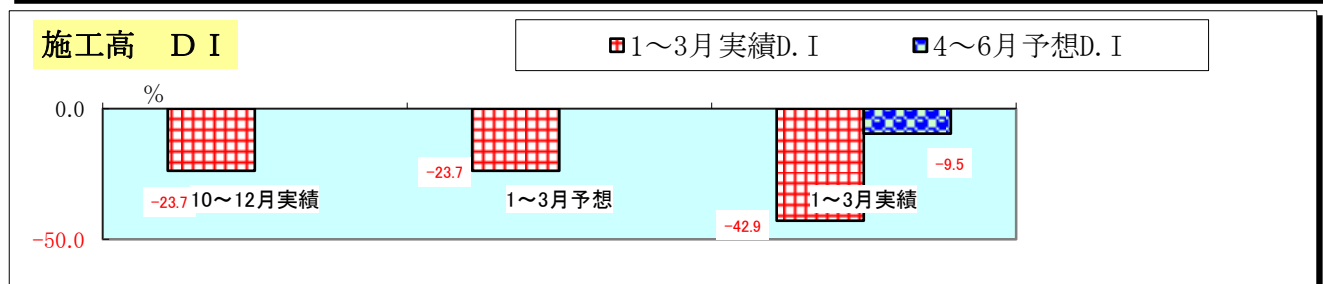
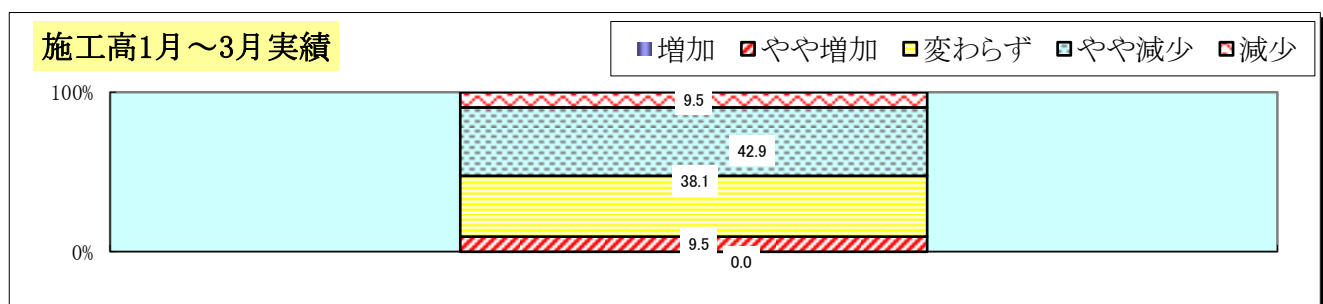
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の13.0%、「減少」「やや減少」した企業は62.9%を示し、D.I.は△49.9となりました。
- 今期売上判断D.I. △49.9は、前期実績D.I. △22.2から27.7ポイント下降し、前回調査における今期の予測D.I. △27.8からも22.1ポイントの悪化を示しました。
- 業種別の今期D.I.は、全ての業種で売上額の減少を示している。卸売業で△88.8ポイント、サービス業で△69.3ポイント、製造業で△64.5ポイントと大幅な減少となった。
- 4~6月期の売上額予想D.I.は△18.7で、1~3月実績対比31.2ポイントの増加と予想しています。

(2) 受注残・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							-9.6	
1~3月予想							-32.7	
1~3月実績	総合	0.0	7.7	34.6	42.3	15.4	-50.0	5.8
	建設	0.0	9.5	42.9	42.9	4.8	-38.2	9.5
	製造	0.0	6.5	29.0	41.9	22.6	-58.0	3.2



施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							-23.7	
1~3月予想							-23.7	
1~3月実績		0.0	9.5	38.1	42.9	9.5	-42.9	-9.5

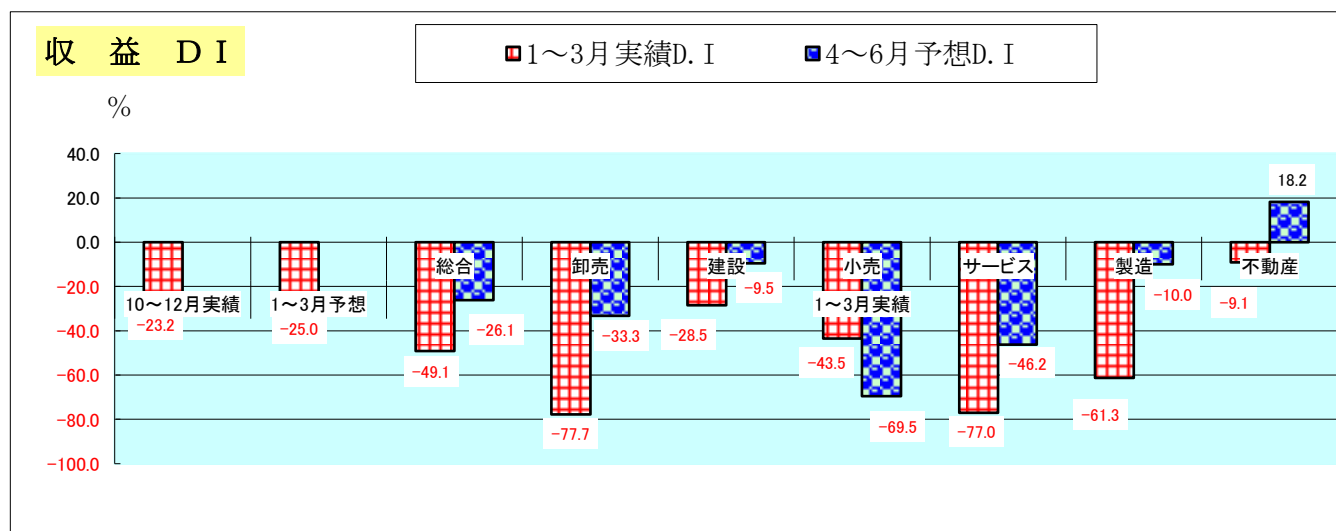
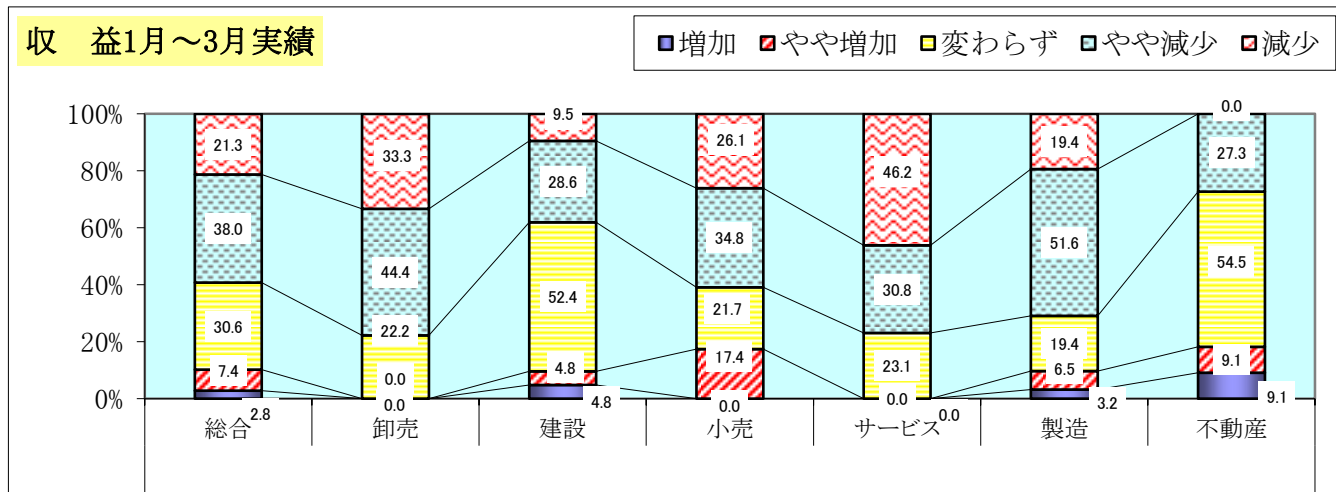


○ 受注残(製造業、建設業のみ)D.I. は△50.0で、前期実績のD.I. △9.6に対し40.4ポイント下回った。前期調査における今期の予想D.I. △32.7に対しても17.3ポイント下回りました。また、4~6月期の受注残予想D.I. は5.8で、今期実績対比55.8ポイントの増加を予想しています。

○ 施工高(建設業のみ)D.I. は△42.9で、前期実績D.I. △23.7に対し19.2ポイントの下回りとなった。前回調査における今期予想D.I. △23.7に対しても19.2ポイント下回りしました。また、4~6月期の施工高予想D.I. は△9.5で、1~3月実績対比33.4ポイントの増加と予想しています。

(3) 収益の動き

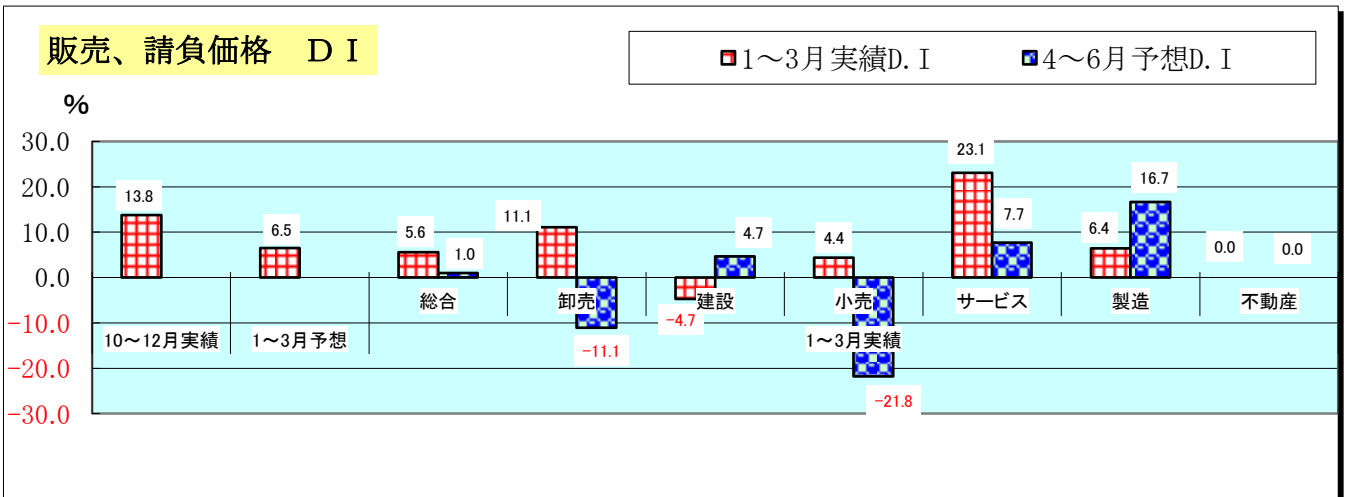
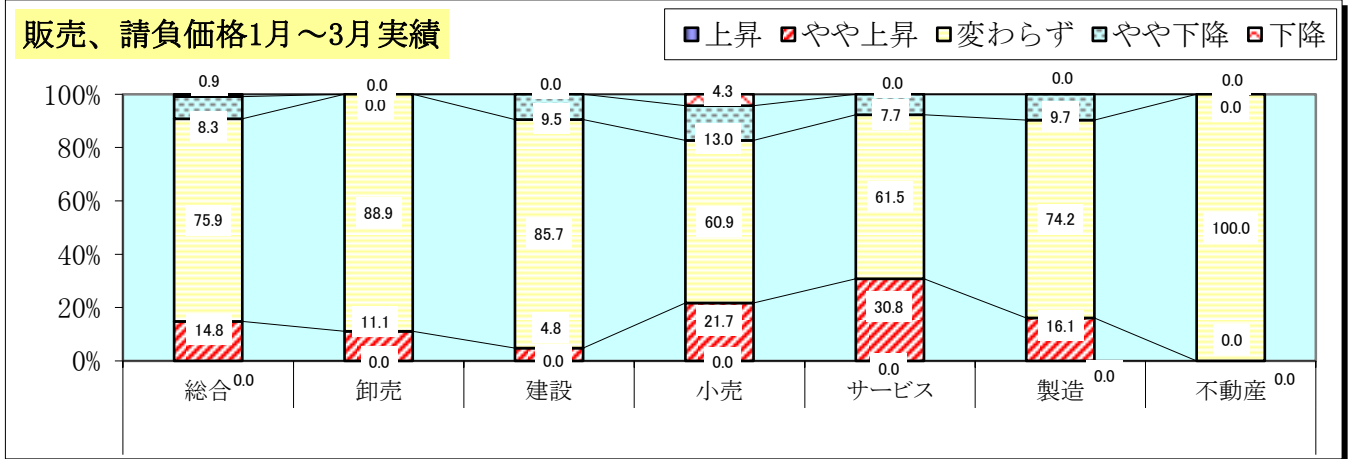
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							-23.2	
1~3月予想							-25.0	
1~3月実績	総合	2.8	7.4	30.6	38.0	21.3	-49.1	-26.1
	卸売	0.0	0.0	22.2	44.4	33.3	-77.7	-33.3
	建設	4.8	4.8	52.4	28.6	9.5	-28.5	-9.5
	小売	0.0	17.4	21.7	34.8	26.1	-43.5	-69.5
	サービス	0.0	0.0	23.1	30.8	46.2	-77.0	-46.2
	製造	3.2	6.5	19.4	51.6	19.4	-61.3	-10.0
	不動産	9.1	9.1	54.5	27.3	0.0	-9.1	18.2



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は10.2%、「やや減少」「減少」した企業は59.3%でD.I.は△49.1となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △23.2から25.9ポイント下回り、前回調査における今期予想D.I. △25.0に対しても24.1ポイント下回りとなった。
- 業種別の今期D.I.は全ての業種でマイナスとなった。卸売業で△77.7、サービス業で△77.0、製造業で△61.3ポイントと減少が顕著となっている。
- 4~6月期の収益予想D.I.は△26.1で、1~3月実績より23.0ポイントの良化と予想しています。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

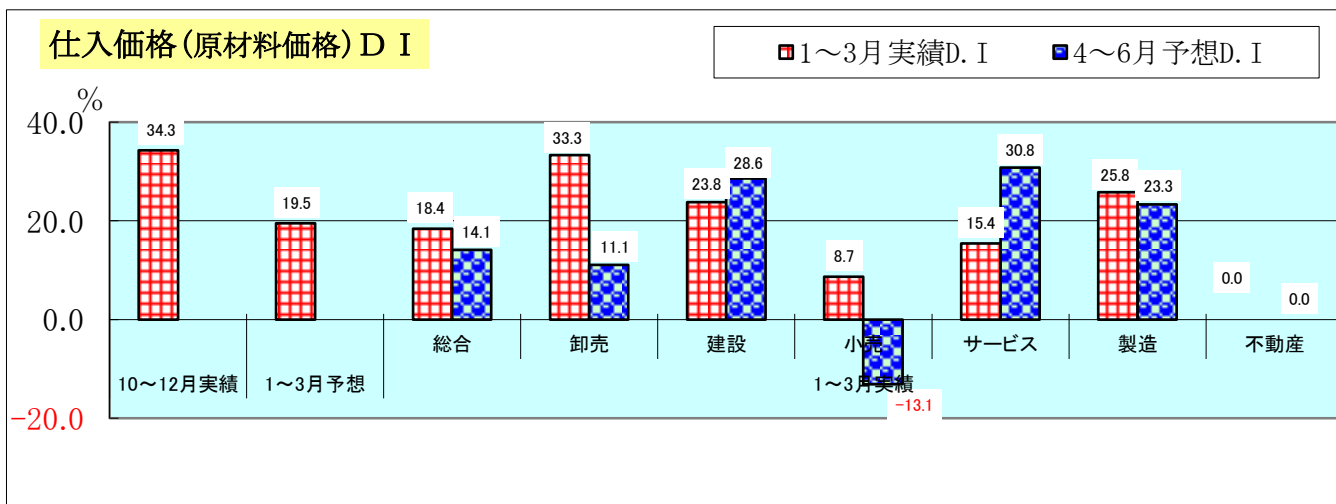
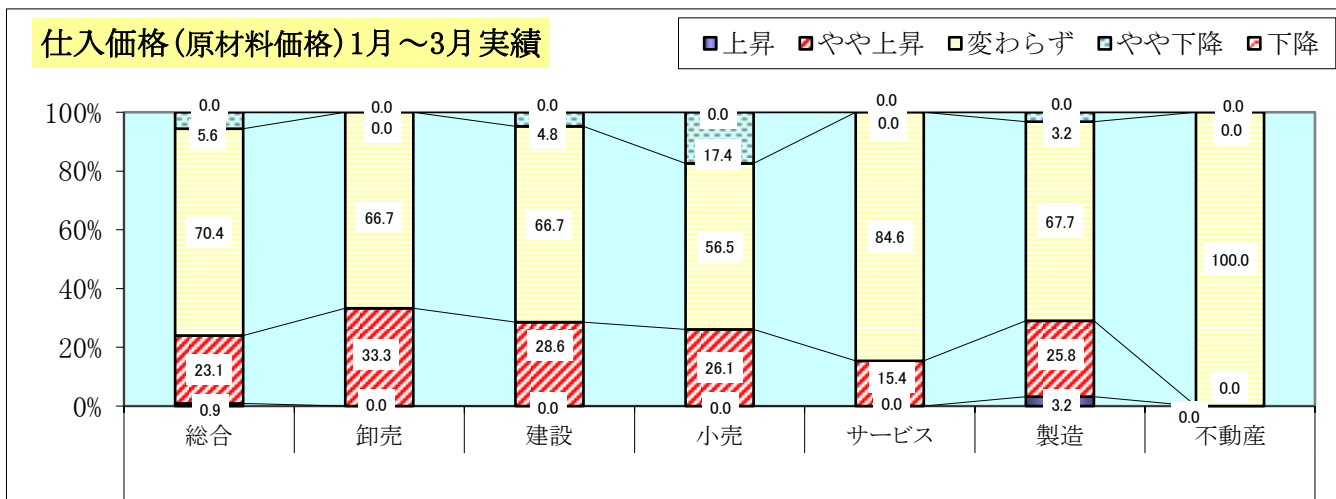
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							13.8	
1~3月予想							6.5	
1~3月実績	総合	0.0	14.8	75.9	8.3	0.9	5.6	1.0
	卸売	0.0	11.1	88.9	0.0	0.0	11.1	-11.1
	建設	0.0	4.8	85.7	9.5	0.0	-4.7	4.7
	小売	0.0	21.7	60.9	13.0	4.3	4.4	-21.8
	サービス	0.0	30.8	61.5	7.7	0.0	23.1	7.7
	製造	0.0	16.1	74.2	9.7	0.0	6.4	16.7
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が14.8%、「やや下降」「下降」と回答している企業が9.2%で、D.I.は5.6となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. 13.8から8.2ポイント下回り、前回調査における今期予想D.I. 6.5ポイントよりも0.9ポイント下回りとなりました。
- 業種別では、建設業のみ下降を示し、不動産業を除き他は上昇ポイントとなった。中でもサービス業の上昇は著しい。
- 4~6月期の販売価格予想D.I.は1.0で、1~3月期実績対比4.6ポイントの下降と予想しています。小売業と卸売業での販売価格下降予想が大きく目立ちます。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

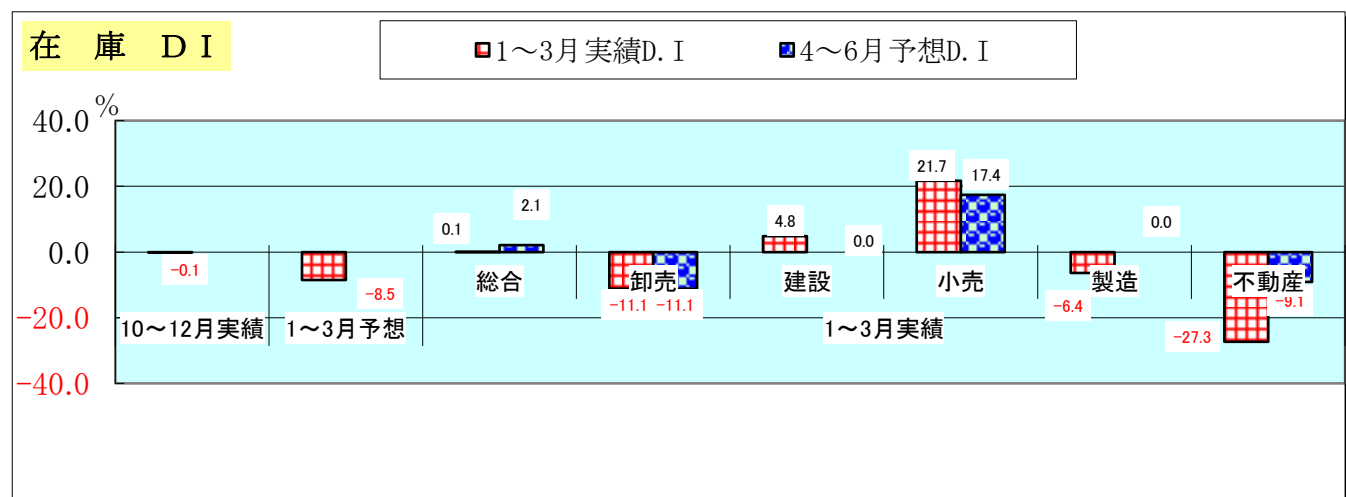
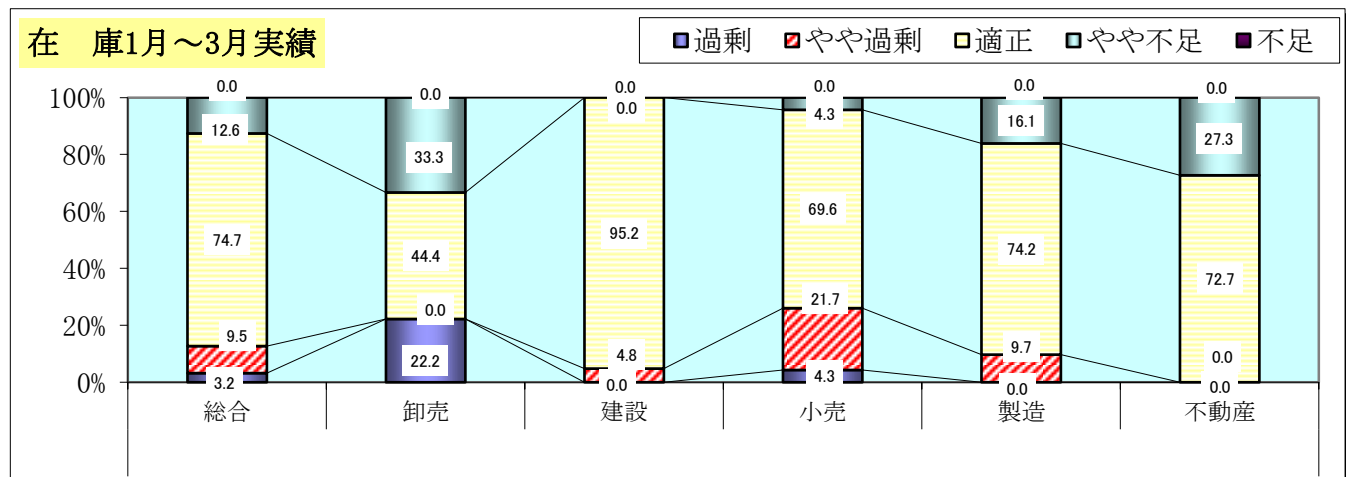
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							34.3	
1~3月予想							19.5	
1~3月実績	総合	0.9	23.1	70.4	5.6	0.0	18.4	14.1
	卸売	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	11.1
	建設	0.0	28.6	66.7	4.8	0.0	23.8	28.6
	小売	0.0	26.1	56.5	17.4	0.0	8.7	-13.1
	サービス	0.0	15.4	84.6	0.0	0.0	15.4	30.8
	製造	3.2	25.8	67.7	3.2	0.0	25.8	23.3
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が24.0%、「やや下降」「下降」と回答している企業が5.6%で、今期実績D.I.は18.4となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. 34.3から15.9ポイント下降し、前回調査における今期予想D.I. 19.5に対しても1.1ポイントの下降を示しました。
- 業種別では、不動産業は変化なし、他は全体的に仕入価格の上昇傾向を示しました。殊に卸売業、製造業、建設業の上昇傾向は大きかった。
- 4~6月期の予想D.I.は14.1で、1~3月期実績対比4.3ポイントの下降を予想しています。殊に小売業では前期比21.8ポイント下降の予想となりました。

(6) 在庫の動き

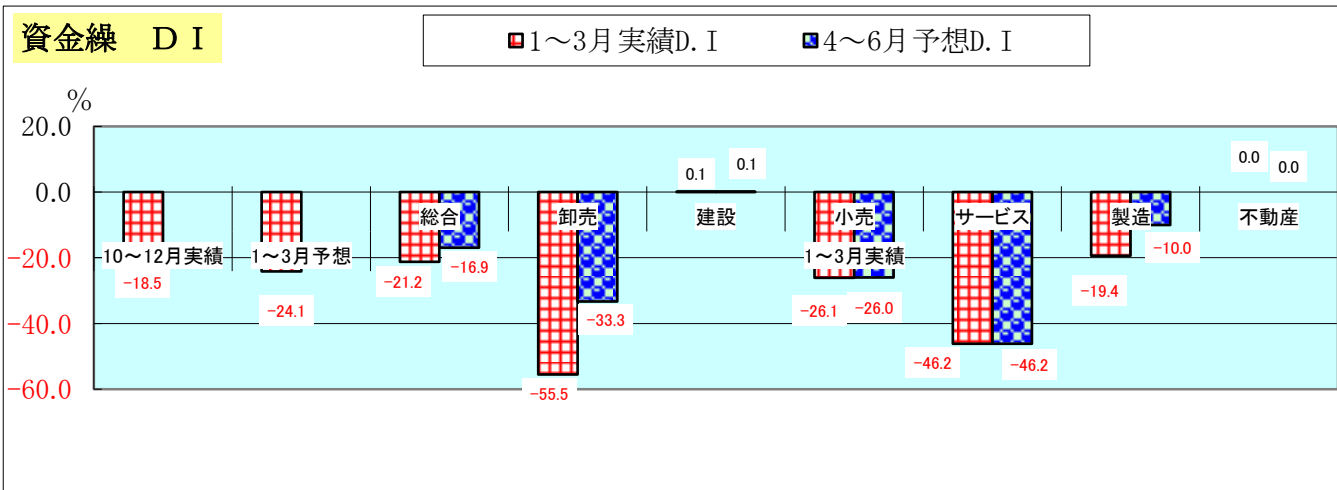
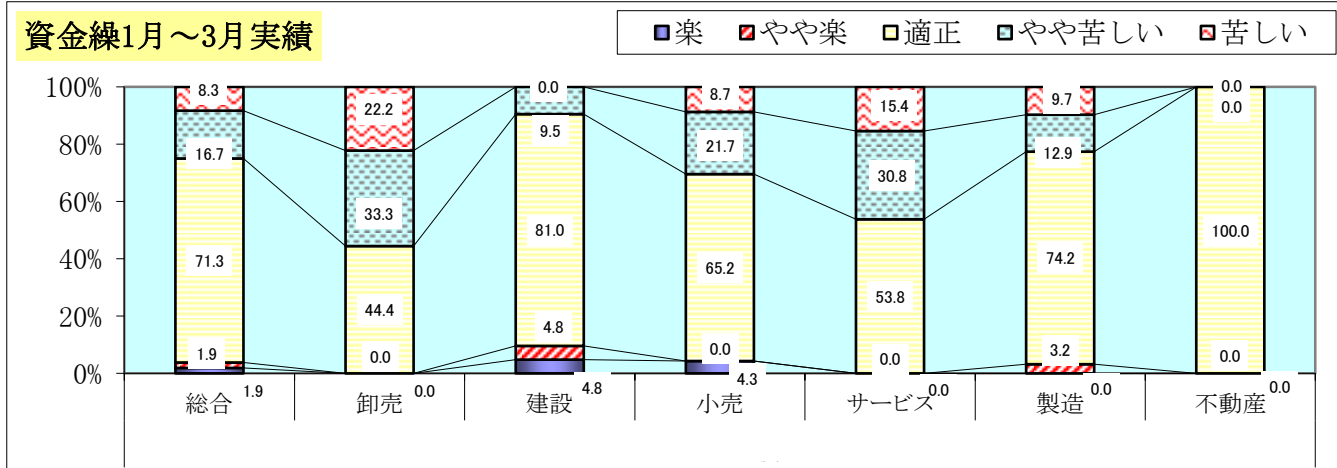
在庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							-0.1	
1~3月予想							-8.5	
1~3月実績	総合	3.2	9.5	74.7	12.6	0.0	0.1	2.1
	卸売	22.2	0.0	44.4	33.3	0.0	-11.1	-11.1
	建設	0.0	4.8	95.2	0.0	0.0	4.8	0.0
	小売	4.3	21.7	69.6	4.3	0.0	21.7	17.4
	製造	0.0	9.7	74.2	16.1	0.0	-6.4	0.0
	不動産	0.0	0.0	72.7	27.3	0.0	-27.3	-9.1



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が12.7%、「やや不足」「不足」と回答している企業が12.6%で、今期D.I.は0.1となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. Δ 0.1から0.2ポイント過剰傾向となった。前回における今期予想D.I. Δ 8.5に対しても8.6ポイントの過剰を示しました。
- 業種別では、小売業・建設業で過剰を示し、他は不足傾向となっている。殊に不動産業の在庫不足が著しい。
- 4~6月期の予想D.I.は2.1で、1~3月期実績比2ポイントの在庫過剰傾向を予想しています。

(7) 資金繰りの動き

資金繰		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							-18.5	
1~3月予想							-24.1	
1~3月実績	総合	1.9	1.9	71.3	16.7	8.3	-21.2	-16.9
	卸売	0.0	0.0	44.4	33.3	22.2	-55.5	-33.3
	建設	4.8	4.8	81.0	9.5	0.0	0.1	0.1
	小売	4.3	0.0	65.2	21.7	8.7	-26.1	-26.0
	サービス	0.0	0.0	53.8	30.8	15.4	-46.2	-46.2
	製造	0.0	3.2	74.2	12.9	9.7	-19.4	-10.0
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が3.8%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が25.0%となり、今期D.I.は△21.2となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △18.5から2.7ポイント悪化、前回調査における今期予想D.I. △24.1からは2.9ポイントの改善となりました。
- 業種別では、不動産業で変化なく、建設業はほぼ適正で他業種は資金繰りが苦しい状況を示しています。
- 4~6月期の予想D.I.は△16.9で、1~3月期実績比で4.3ポイント良化となり、次期に於いては若干資金繰りの改善が予想されます。

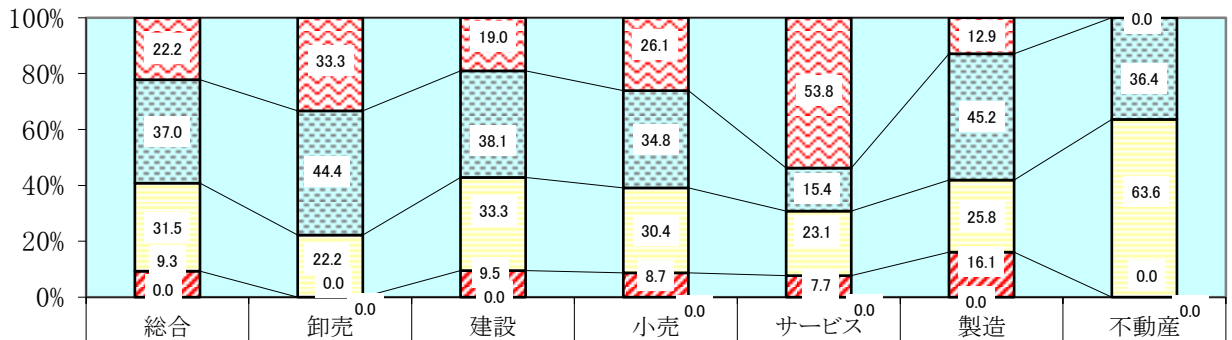
3. 対前年同期に比べた動き

(1) 売上

対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D.I
前年同期実績							-16.5
1~3月実績	総合	0.0	9.3	31.5	37.0	22.2	-49.9
	卸売	0.0	0.0	22.2	44.4	33.3	-77.7
	建設	0.0	9.5	33.3	38.1	19.0	-47.6
	小売	0.0	8.7	30.4	34.8	26.1	-52.2
	サービス	0.0	7.7	23.1	15.4	53.8	-61.5
	製造	0.0	16.1	25.8	45.2	12.9	-42.0
	不動産	0.0	0.0	63.6	36.4	0.0	-36.4

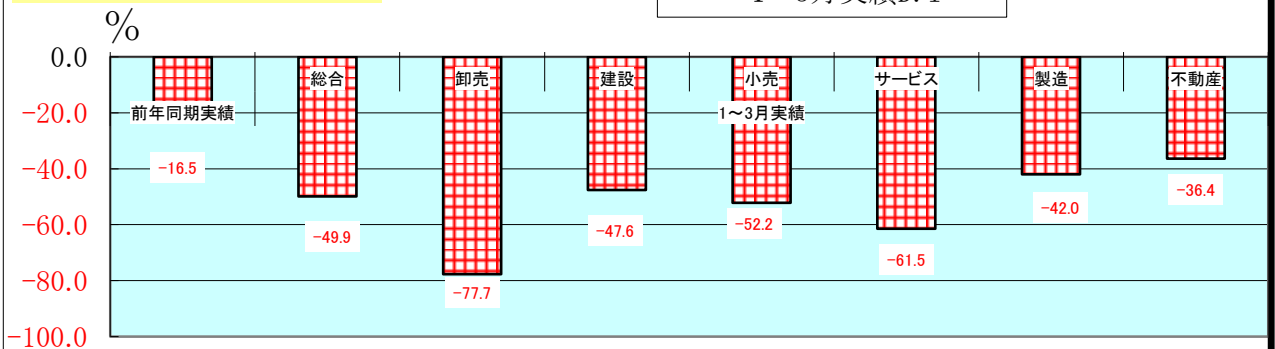
対前年同期比売上額1月~3月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比売上 D I

■1~3月実績D.I



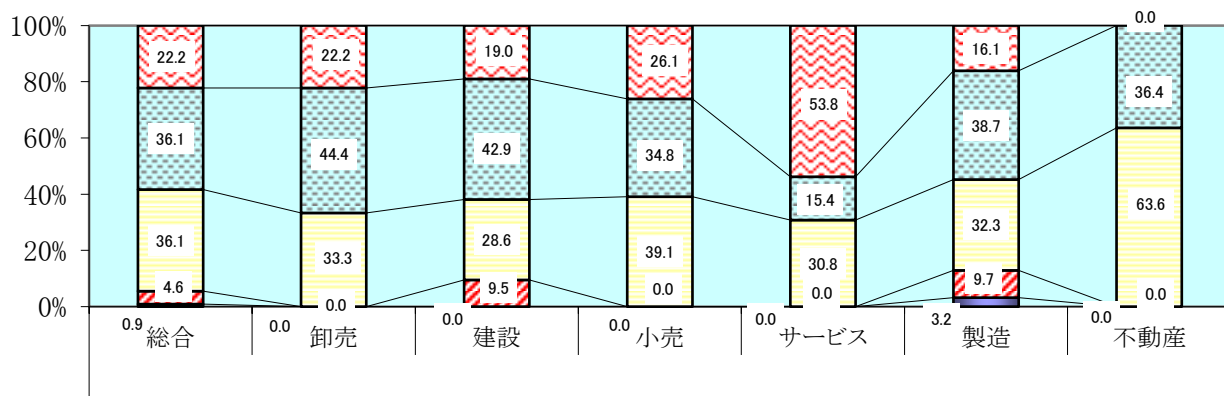
- 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が9.3%、「やや減少」「減少」と回答している企業が59.2%で、今期D.I.は△49.9となりました。
- 今期実績は、前年同期実績D.I. △16.5に対し33.4ポイントの悪化を示しました。
- 業種別では、全ての業種で減少となった。殊に卸売業・サービス業・小売業の減少が顕著となりました。

(2) 収益

対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I
前年同期実績							-21.2
1~3月実績	総合	0.9	4.6	36.1	36.1	22.2	-52.8
	卸売	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2	-66.6
	建設	0.0	9.5	28.6	42.9	19.0	-52.4
	小売	0.0	0.0	39.1	34.8	26.1	-60.9
	サービス	0.0	0.0	30.8	15.4	53.8	-69.2
	製造	3.2	9.7	32.3	38.7	16.1	-41.9
	不動産	0.0	0.0	63.6	36.4	0.0	-36.4

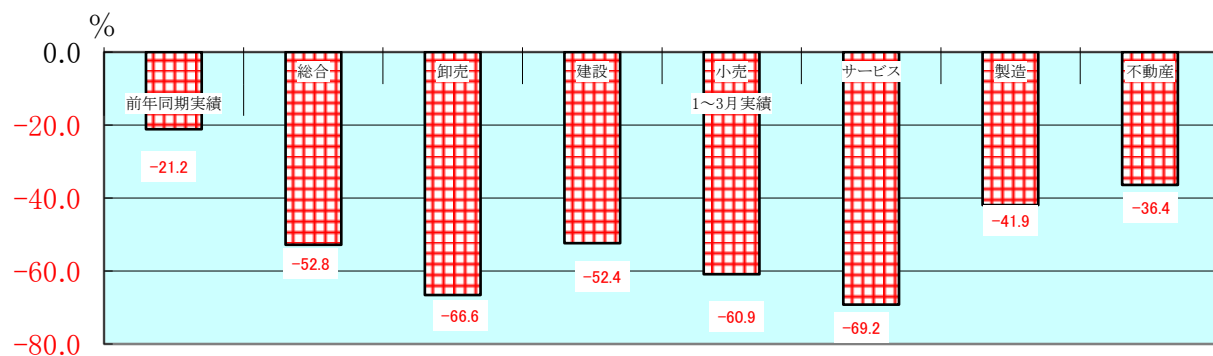
対前年同期比収益1月~3月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比収益 D I

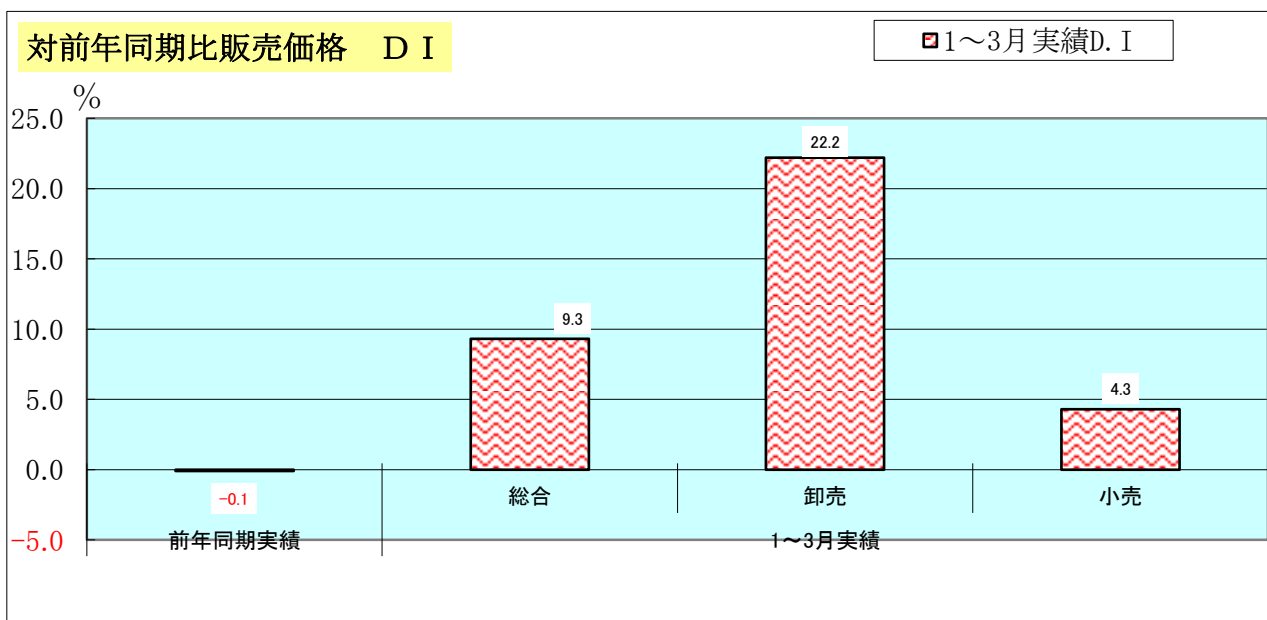
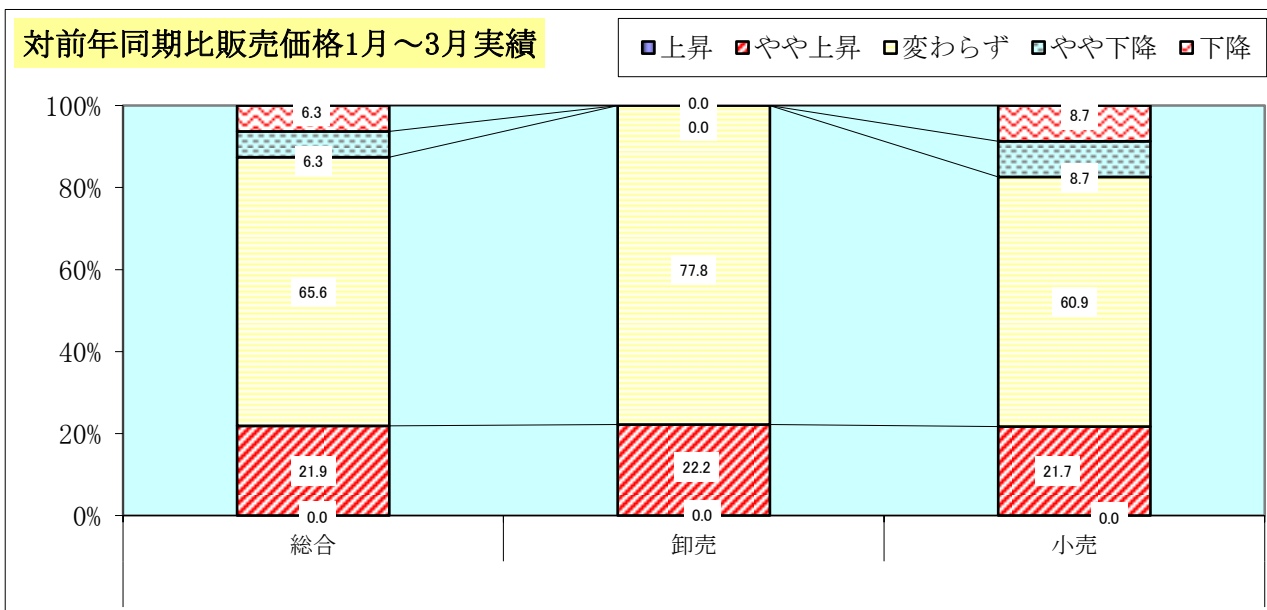
■1~3月実績D. I



- 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が5.5%、「やや減少」「減少」と回答している企業が58.3%で、今期D. I. は△52.8となりました。
- 今期実績は前年同期実績D. I. △21.2に対し、31.6ポイントの悪化となりました。
- 業種別では、全ての業種で減少となりました。殊にサービス業・卸売業・小売業は大幅減少となりました。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1~3月実績D.I
前年同期実績							-0.1
1~3月実績	総合	0.0	21.9	65.6	6.3	6.3	9.3
	卸売	0.0	22.2	77.8	0.0	0.0	22.2
	小売	0.0	21.7	60.9	8.7	8.7	4.3

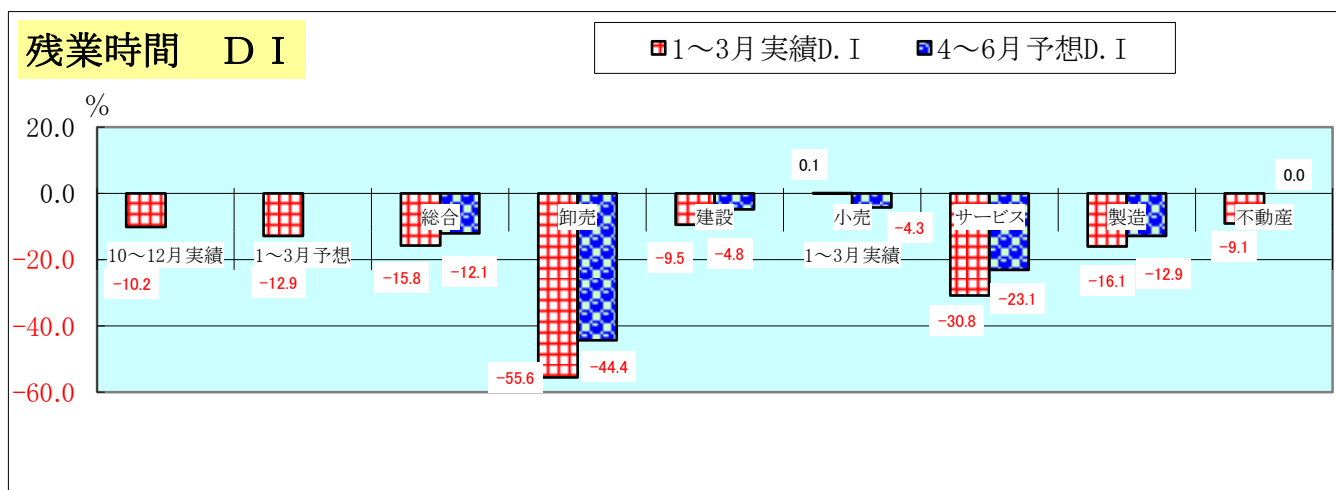
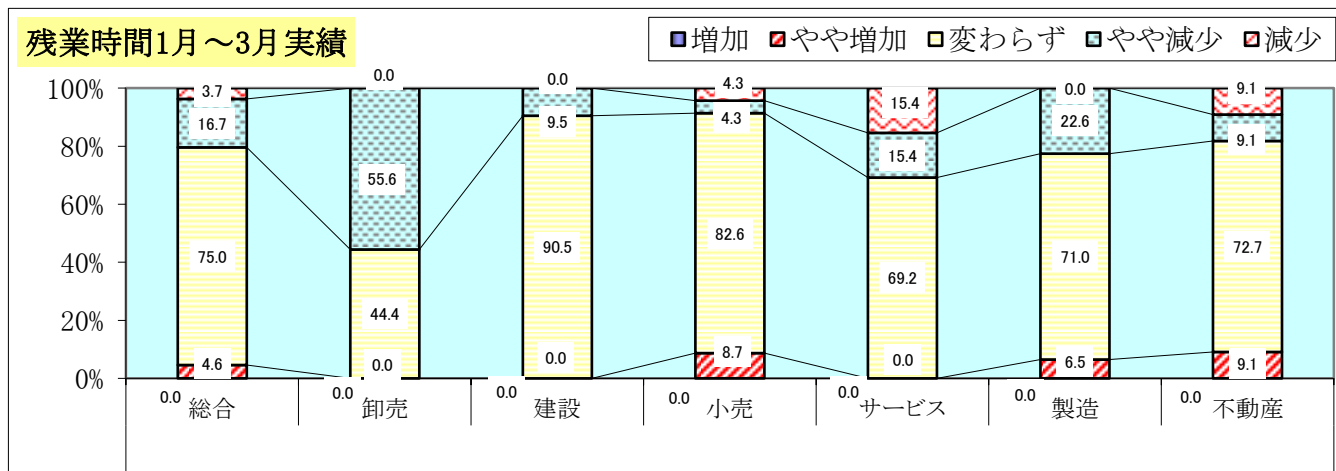


- 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が21.9%、「やや下降」「下降」と回答している企業が12.6%となり、今期D.I.は9.3となりました。
- 今期実績は前年同期実績D.I. $\Delta 0.1$ に対し9.4ポイントの上昇となりました。
- 業種別では、卸売業、小売業共に販売価格は上昇となりました。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

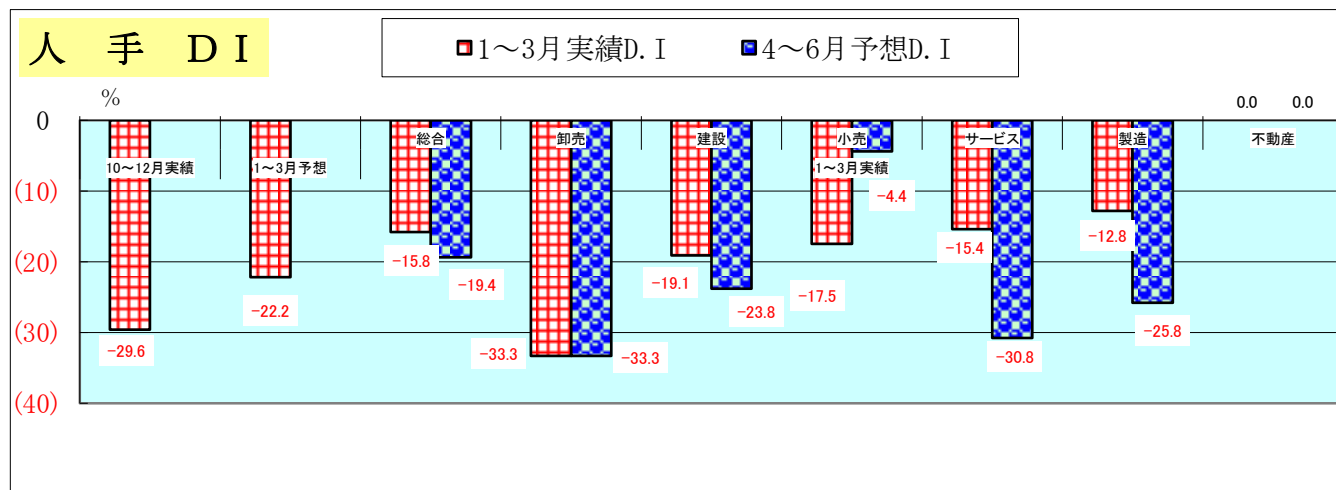
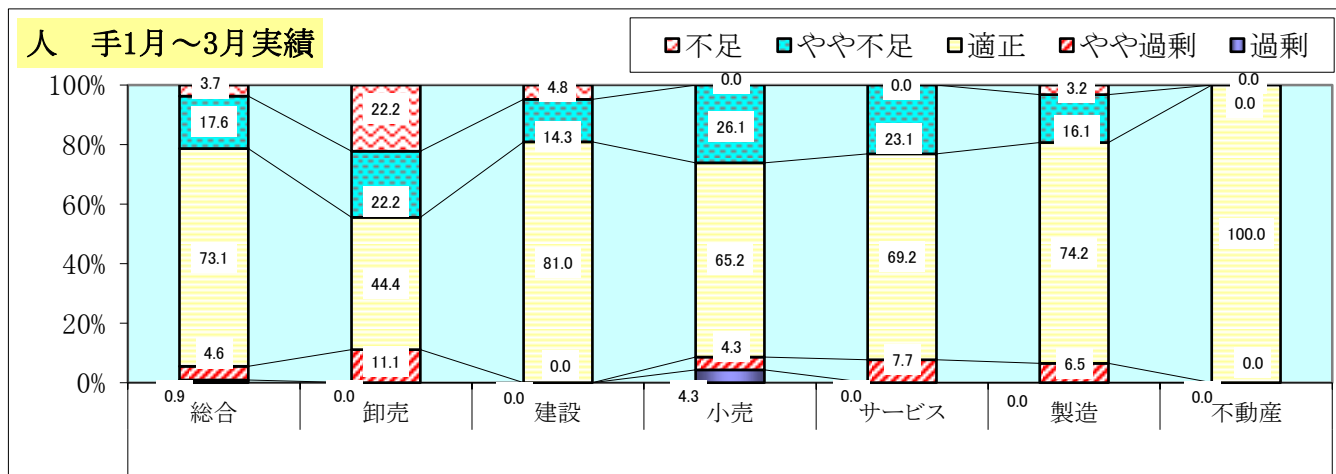
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I	4~6月予想D. I
10~12月実績							-10.2	
1~3月予想							-12.9	
1~3月実績	総合	0.0	4.6	75.0	16.7	3.7	-15.8	-12.1
	卸売	0.0	0.0	44.4	55.6	0.0	-55.6	-44.4
	建設	0.0	0.0	90.5	9.5	0.0	-9.5	-4.8
	小売	0.0	8.7	82.6	4.3	4.3	0.1	-4.3
	サービス	0.0	0.0	69.2	15.4	15.4	-30.8	-23.1
	製造	0.0	6.5	71.0	22.6	0.0	-16.1	-12.9
	不動産	0.0	9.1	72.7	9.1	9.1	-9.1	0.0



- 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が4.6%、「やや減少」「減少」と回答している企業が20.4%で、今期D. I. は△15.8となりました。
- 今期実績は前期実績D. I. △10.2に対し5.6ポイント残業時間が減少となった。前回調査における今期予想D. I. △12.9に対しても2.9ポイントの残業時間の減少を示しました。
- 業種別では、小売業の残業は微増で、他業種の残業は減少傾向です。卸売業で大幅減少を示しています。
- 4~6月期の予想D. I. △12.1で、1~3月期実績より3.7ポイントの残業増加を予想しています。

(2) 人手

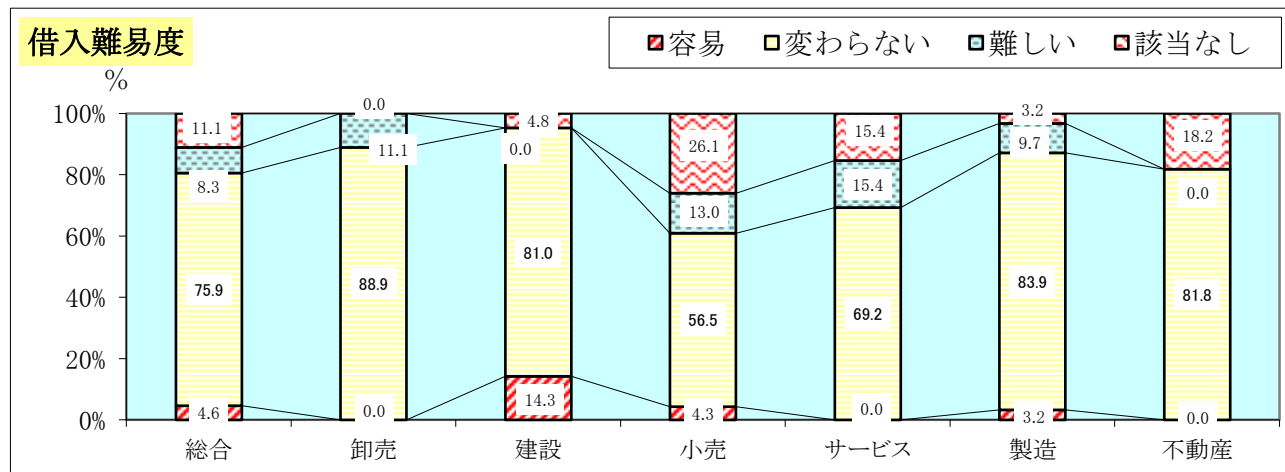
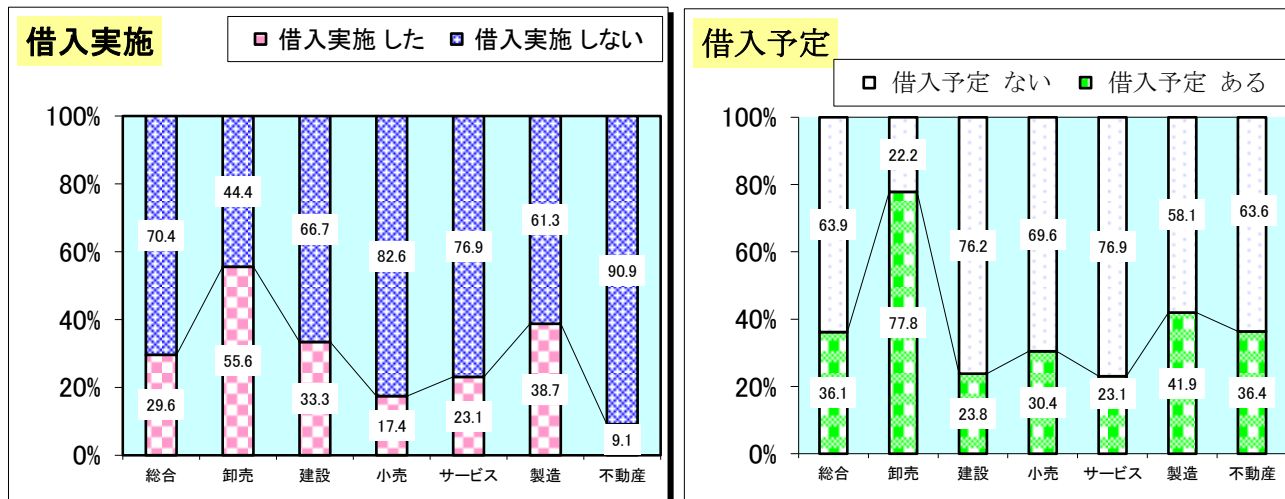
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D. I	4~6月予想D. I
10~12月実績							-29.6	
1~3月予想							-22.2	
1~3月実績	総合	0.9	4.6	73.1	17.6	3.7	-15.8	-19.4
	卸売	0.0	11.1	44.4	22.2	22.2	-33.3	-33.3
	建設	0.0	0.0	81.0	14.3	4.8	-19.1	-23.8
	小売	4.3	4.3	65.2	26.1	0.0	-17.5	-4.4
	サービス	0.0	7.7	69.2	23.1	0.0	-15.4	-30.8
	製造	0.0	6.5	74.2	16.1	3.2	-12.8	-25.8
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が5.5%、「やや不足」「不足」と回答している企業が21.3%で、今期D. I. は△15.8となりました。
- 今期実績は前期実績D. I. △29.6から13.8ポイント人手不足の改善となった。前回調査における今期予想D. I. △22.2に対しても、6.4ポイント人手不足が改善された。
- 業種別では、不動産業では適正を示し、他業種では依然として人手不足傾向となっている。卸売業では深刻な状況となっている。
- 4~6月期予想D. I. は△19.4で、1~3月期実績D. I. より3.6ポイントの人手不足傾向を予想しております。サービス業・製造業・建設業の人手不足は次期に於いてもさらに深刻化を予想しています。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	29.6	70.4	36.1	63.9	4.6	75.9	8.3	11.1
卸売	55.6	44.4	77.8	22.2	0.0	88.9	11.1	0.0
建設	33.3	66.7	23.8	76.2	14.3	81.0	0.0	4.8
小売	17.4	82.6	30.4	69.6	4.3	56.5	13.0	26.1
サービス	23.1	76.9	23.1	76.9	0.0	69.2	15.4	15.4
製造	38.7	61.3	41.9	58.1	3.2	83.9	9.7	3.2
不動産	9.1	90.9	36.4	63.6	0.0	81.8	0.0	18.2

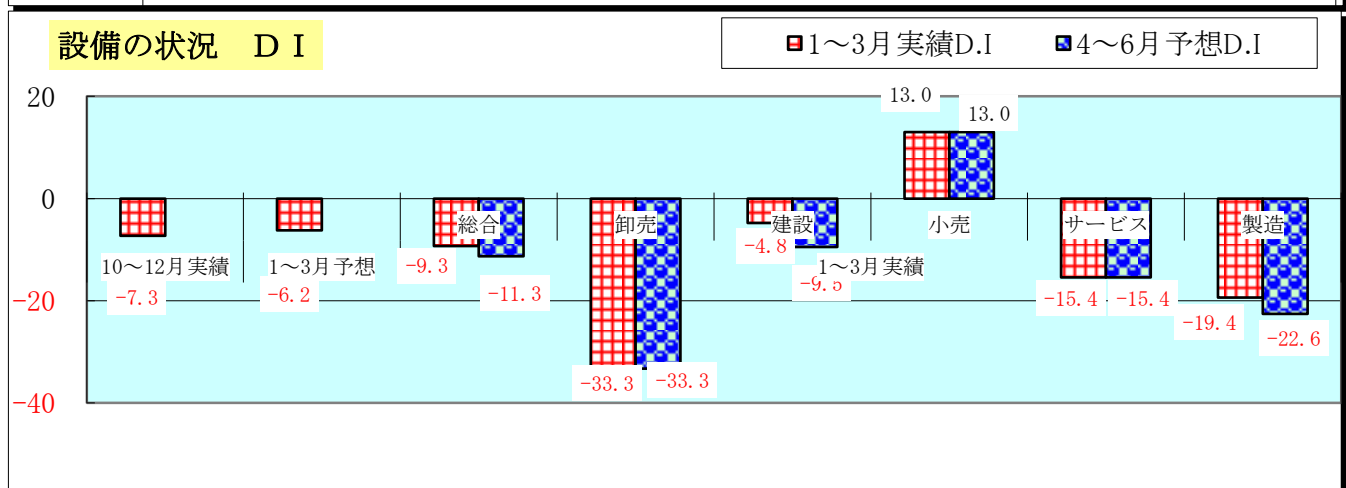
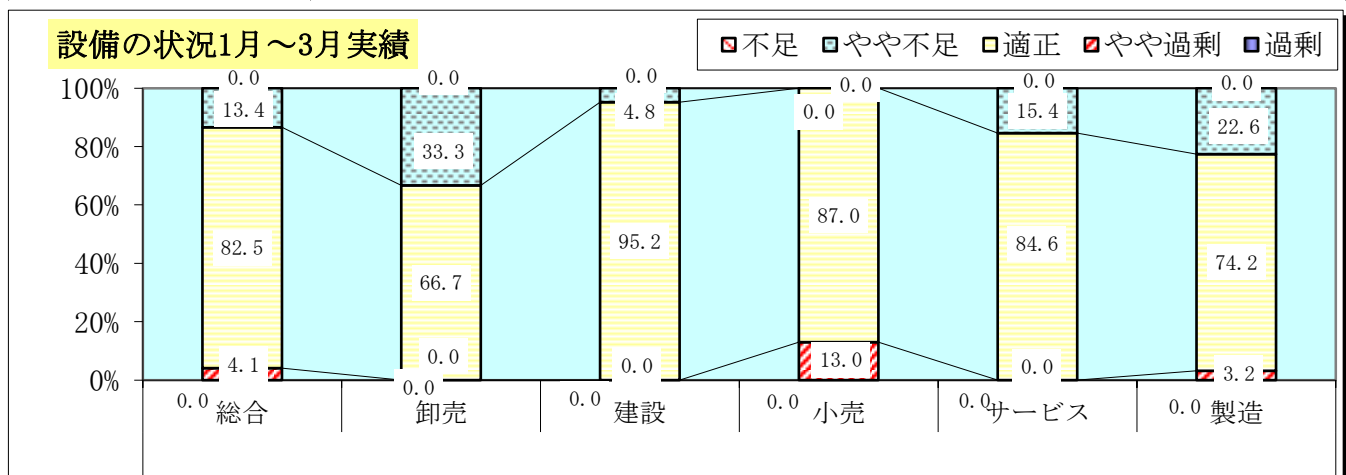


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の29.6%であり、全ての業種で借入を実施しています。前回調査では借入実施率35.2%となっています。
- 今後の借入予定では、36.1%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、卸売業77.8%、製造業41.9%、不動産業36.4%、小売業30.4%、建設業23.8%、サービス業23.1%となっています。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が75.9%（前回71.3%）、「容易」は4.6%（前回6.5%）、「難しい」は8.3%（前回12.0%）となっています。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D.I	4~6月予想D.I
10~12月実績							-7.3	
1~3月予想							-6.2	
1~3月実績	総合	0.0	4.1	82.5	13.4	0.0	-9.3	-11.3
	卸売	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	-33.3	-33.3
	建設	0.0	0.0	95.2	4.8	0.0	-4.8	-9.5
	小売	0.0	13.0	87.0	0.0	0.0	13.0	13.0
	サービス	0.0	0.0	84.6	15.4	0.0	-15.4	-15.4
	製造	0.0	3.2	74.2	22.6	0.0	-19.4	-22.6



- 設備の状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が4.1%、「不足」「やや不足」と回答している企業が13.4%で、今期D.I.は△9.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △7.3に対して2.0ポイントの不足を示し、前回調査における今期予想D.I. △6.2に対しても3.1ポイントの不足となりました。
- 業種別では、小売業では過剰傾向となり、他業種では全て不足を示している。卸売業での設備投資不足が顕著となった。
- 4~6月期予想D.I.は△11.3で、1~3月期実績D.I.より2.0ポイントの不足傾向を予想しています。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合	0	3	4	9	6	2	78
卸売	0	0	0	2	0	0	7
建設	0	2	2	4	2	1	15
小売	0	-	-	1	0	1	20
サービス	0	0	1	0	1	0	11
製造	0	1	1	2	3	0	25

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合	2	6	5	2	5	1	81
卸売	0	0	0	0	0	0	9
建設	1	3	1	1	2	1	15
小売	1	-	-	0	2	0	19
サービス	0	1	1	0	0	0	12
製造	0	2	3	1	1	0	26

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ24件で前期の28件を4件下回りました。
業種別内訳では、建設業11件、製造業7件、卸売業・小売業・サービス業が各2件となっています。
実施した設備内容は「事務機器」が9件、「車両」6件、「機械更改」4件、「機械新增設」3件、「その他」2件となっており、「土地建物」への投資はありませんでした。
- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した件数は延べ21件となっています。
業種別内訳では建設業9件、製造業7件、小売業3件、サービス業2件が予定され、卸売業での設備投資予定はありませんでした。
設備投資計画の内容を見ると、「機械新增設」6件、「機械更改」・「車両」が各5件、「土地建物」・「事務機器」各2件、「その他」1件の予定となっています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	5	6	7	8	12	17	8	7	14	13	5	6	51	57	19.8	23.0
同業者間の競争激化	0	0	3	6	5	1	1	2	3	2	4	4	16	15	6.2	6.0
利幅の縮小	2	3	5	8	6	3	3	2	11	10	1	5	28	31	10.9	12.5
人件費の増加	2	2	4	1	1	0	2	2	3	5	2	1	14	11	5.4	4.4
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	1	1	0	0	0	0	4	3	7	5	0	0	12	9	4.7	3.6
人件費以外の経費の増加	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	2	3	0.8	1.2
大手企業（大型店）との競争激化	2	3	0	1	3	1	0	0	0	1	0	0	5	6	1.9	2.4
合理化の不足	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0.4	0.8
天候の不順	0	0	1	2	3	6	0	1	2	3	0	0	6	12	2.3	4.8
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0.4	0.4
原材料高・材料価格の上昇	0	0	5	2	0	0	4	1	13	13	0	0	22	16	8.5	6.5
地場産業の衰退	0	0	3	3	3	3	0	1	3	1	0	0	9	8	3.5	3.2
集客力の低下	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0.4	0.8
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
為替レートの変動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	4	6	4	2.3	1.6
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	3	1	1.2	0.4
人手不足	4	3	11	7	7	6	4	3	10	7	0	1	36	27	14.0	10.9
商圏人口の減少	0	0	0	0	9	13	3	4	0	0	0	0	12	17	4.7	6.9
取引先の減少	2	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6	2	2.3	0.8
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	4	1	0	0	1	1	3	3	0	0	8	5	3.1	2.0
輸入製品（商品）との競争激化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3	0.4	1.2
問題なし	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	4	4	1.6	1.6
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	0	2	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0	1	6	0.4	2.4
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0.8	0.4
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
仕入先からの値上り要請	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1.2	0.0
下請けの確保難	0	0	5	3	0	0	0	0	1	1	0	0	6	4	2.3	1.6
合計	24	24	49	45	60	56	32	29	75	71	18	23	258	248	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」
第2位～ 「利幅の縮小」
第3位～ 「人手不足」

57件
31件
27件

前期

第1位～ 「売上の停滞・減少」 51件
第2位～ 「人手不足」 36件
第3位～ 「利幅の縮小」 28件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
製造業	売上の停滞・減少、 原材料高・材料価格の上昇	13	利幅の縮小	10	人手不足	7
小売業	売上の停滞・減少	17	商圏人口の減少	13	天候の不順、 人手不足	6
建設業	売上の停滞・減少、 利幅の縮小	8	人手不足	7	同業者間の競争激化	6
サービス業	売上の停滞・減少	7	商圏人口の減少	4	店舗設備の狭小・老朽化 人手不足	3

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	4	8	10	11	16	16	5	9	16	17	3	2	54	63	22.2	26.5
販路を広げる	4	5	7	7	0	0	2	2	16	15	2	1	31	30	12.8	12.6
情報力を強化する	1	2	4	5	0	0	0	0	6	6	5	6	16	19	6.6	8.0
人材を確保する	4	3	9	7	6	9	5	3	12	11	3	1	39	34	16.0	14.3
技術力を強化（高める）	0	0	7	5	0	0	1	1	0	0	0	0	8	6	3.3	2.5
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	11	9	0	0	11	9	4.5	3.8
機械化を推進する	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	4	1	1.6	0.4
パート化を図る	2	2	2	3	3	2	4	4	1	2	1	2	13	15	5.3	6.3
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	2	1	0	0	3	0	1	1	1	1	7	3	2.9	1.3
宣伝・広告を強化する	0	1	0	0	0	0	1	1	2	1	0	2	3	5	1.2	2.1
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	3	1.2	1.3
新しい事業を始める	0	0	0	0	3	3	7	9	0	0	2	3	12	15	4.9	6.3
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	0.8	1.7
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0.4	0.4
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	6	2	2.5	0.8
特になし	0	0	2	3	2	2	0	0	0	3	2	2	6	10	2.5	4.2
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	3	2	1.2	0.8
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	1.6	1.3
輸入品の取扱を増やす	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	3	2	1.2	0.8
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	1.6	0.8
営業時間を延長する	2	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	5	4	2.1	1.7
提携先を見つける	2	1	0	0	1	1	1	2	0	0	1	1	5	5	2.1	2.1
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
労働条件を改善する	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	23	22	46	44	48	46	32	32	74	72	20	22	243	238	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 63 件
 第2位～ 「人材を確保する」 34 件
 第3位～ 「販路を広げる」 30 件

前期

第1位～ 「経費を節減する」 54 件
 第2位～ 「人材を確保する」 39 件
 第3位～ 「販路を広げる」 31 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
製造業	経費を節減する	17	販路を広げる	15	人材を確保する	11
建設業	経費を節減する	11	販路を広げる 人材を確保する	7	情報力を強化する 技術力を強化（高める）	5
小売業	経費を節減する	16	人材を確保する	9	仕入先を開拓・選別する 営業時間を延長する	4
サービス業	経費を節減する、 新しい事業を始める	9	パート化を図る	4	人材を確保する	3

特別調査

「外国人・海外情勢と中小企業」

問 1 海外からの旅行客(インバウンド)の増加や、外国人労働者の受入れ拡大など、近年、日本と海外とのつながりが強まっています。そこで、近年、貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会が増えているという実感はありますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

	1. 非常に増えている	2. 増えている	3. 変わらない	4. 減っている	5. 非常に減っている				
合計 (構成比)	2.8%	12.0%	79.6%	3.7%	1.9%				
総合	3	13	86	4	2				
卸売	0	3	5	1	0				
建設	1	1	18	1	0				
小売	0	5	18	0	0				
サービス	0	4	8	0	1				
製造	2	0	26	2	1				
不動産	0	0	11	0	0				

上記質問で「変わらない」は86先と一番多く、次いで「増えている」は13先、「減っている」は4先、「非常に増えている」は3先、「非常に減っている」は2先であった。1.については、製造が2先、建設が1先となった。2.については、小売が5先、サービスが4先、卸売が3先、建設が1先となった。3.については、製造が26先、建設・小売が各18先、不動産が11先、サービスが8先、卸売が5先となった。4.については、製造が2先、卸売・建設が各1先となった。5.については、サービス・製造が各1先となった。

問 2 貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している方は、従業員全体に占める外国人労働者の割合をお答えください。雇用していない方は、今後、外国人労働者を雇用する予定があるかお答えください。

	外国人労働者を雇用している						雇用していない			
	1. 50%以上	2. 40%~50%	3. 30%~40%	4. 20%~30%	5. 10%~20%	6. 10%未満	7. 雇用する予定あり	8. 雇用する予定なし		
合計 (構成比)	0.0%	0.0%	0.9%	1.9%	0.9%	4.6%	1.9%	89.8%		
総合	0	0	1	2	1	5	2	97		
卸売	0	0	0	0	0	0	1	8		
建設	0	0	0	0	0	2	0	19		
小売	0	0	0	0	0	0	0	23		
サービス	0	0	0	0	0	2	0	11		
製造	0	0	1	2	1	1	1	25		
不動産	0	0	0	0	0	0	0	11		

上記の質問で「外国人労働者を雇用している」は9先となっており、内10%未満が5先、20~30%が2先、10~20%・30~40%が各1先となった。製造が5先と多く、次いで、建設・サービスが各2先となっている。「雇用していない」のうち「雇用する予定あり」は2先で、卸売・製造が各1先となり、「雇用する予定なし」は97先となっている。

問 3 貴社では、売上全体に占める外国人(旅行客を含む。)、もしくは外国企業向けの売上げ(輸出を含む。)はどれくらいですか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

	外国向けの売上げがある							7. 外国向けの売上げはない		
	1. 50%以上	2. 40%~50%	3. 30%~40%	4. 20%~30%	5. 10%~20%	6. 10%未満				
合計 (構成比)	0.0%	0.9%	0.9%	3.7%	4.6%	13.0%	76.9%			
総合	0	1	1	4	5	14	83			
卸売	0	0	0	0	1	1	7			
建設	0	0	0	0	0	1	20			
小売	0	0	0	0	2	5	16			
サービス	0	0	1	1	1	3	7			
製造	0	1	0	3	1	4	22			
不動産	0	0	0	0	0	0	11			

上記の質問で「外国向けの売上げがある」は25先、「外国向けの売上げはない」は83先となった。「外国向けの売上げがある」の内、10%未満が14先、10~20%が5先、20~30%が4先、30~40%・40~50%は各1先となった。「外国向けの売上げがある」と回答があった業種は、製造が9先、小売が7先、サービスが6先、卸売が2先、建設が1先となった。

問 4 貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて1つお答えください。行っていない企業は、行っていない理由について1つお答えください。

	外国向けの取組みを行っている					外国向けの取組みを行っていない				
	1. 製品・商品・サービス面の開発強化	2. 営業力の強化	3. ネットや広告による情報発信	4. 海外拠点の設置・強化	5. その他 ()	6. 国内だけで十分な売上げがある	7. 何をすればいいかわからない	8. 人材が不足している	9. 資金面で余裕がない	0. その他 ()
合計 (構成比)	4.6%	1.9%	3.7%	0.0%	0.0%	44.4%	21.3%	5.6%	5.6%	13.0%
総合	5	2	4	0	0	48	23	6	6	14
卸売	1	0	0	0	0	3	3	1	0	1
建設	0	0	0	0	0	14	4	1	0	2
小売	0	0	1	0	0	9	6	2	2	3
サービス	2	1	1	0	0	2	3	1	0	3
製造	2	1	2	0	0	12	4	1	4	5
不動産	0	0	0	0	0	8	3	0	0	0

上記の質問に対して、「外国向けの取組みを行っている」11先、「外国向けの取組みを行っていない」97先の回答となった。

「外国向けの取組みを行っている」の内、1.は5先で、サービス・製造が各2先、卸売が1先となった。2.は2先で、サービス・製造が各1先となった。3.は4先で、製造2先、小売・サービスが各1先となった。

「外国向けの取組みを行っていない」の内、6.は48先で、建設が14先、製造が12先、小売が9先、不動産8先、卸売が3先、サービスが2先となった。7.は23先で、小売が6先、建設・製造が各4先、卸売・サービス・不動産が各3先となった。8.は6先で、小売が2先、卸売・建設・サービス・製造が各1先となった。9.は、6先で、製造が4先、小売が2先となった。0.その他については、14先の回答となった。

問 5 貴社では、経営上、特に注目している海外情勢はありますか。次の中から3つ以内でお答えください。

	1. 米中貿易摩擦	2. 中東情勢	3. 日中関係	4. 日韓関係	5. 日露関係	6. 北朝鮮関係	7. アメリカ経済・大統領選挙	8. イギリスのEU離脱	9. その他 ()	0. 経営に影響する海外情勢はない
	合計 (構成比)	15.7%	7.5%	13.8%	10.7%	3.8%	4.4%	5.7%	0.6%	3.1%
総合	25	12	22	17	6	7	9	1	5	55
卸売	5	1	3	3	0	1	2	0	1	3
建設	0	1	0	1	1	0	1	0	2	17
小売	6	7	4	2	0	2	2	0	1	9
サービス	2	2	3	2	1	0	1	0	0	7
製造	8	0	10	7	4	3	2	0	0	14
不動産	4	1	2	2	0	1	1	1	1	5

上記の質問に対して、「経営に影響する海外情勢はない」との回答は34.6% (55先) で次いで、1.の「米中貿易摩擦」が15.7% (25先)、3.の「日中関係」が13.8% (22先)、4.の「日韓関係」が10.7% (17先) が上位回答となった。

1.の「米中貿易摩擦」については、製造が8先、小売が6先、卸売が5先、不動産が4先、サービスが2先となった。

3.の「日中関係」については、製造が10先、小売が4先、卸売・サービスが各3先、不動産が2先となった。

4.の「日韓関係」については、製造が7先、卸売が3先、小売・サービス・不動産が各2先、建設が1先となった。